

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-019)

1 ナウルは、長年のリン鉱石の採掘によって荒廃した国土の再建に向け、数年間の太平洋共同体（SPC）による事前調査を受け、その計画を進行

[原文](#)

(26 August 2019, Radio NZ)

2 トンガ沖で、約 150 平方kmに渡り、火山性の軽石が漂流（専門家は、8月7日のトンガ沖海底火山噴火の影響を指摘）

[原文](#)

(26 August 2019, BBC)

3 日本とオーストラリア両首相は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて協力するとともに、南シナ海や北朝鮮問題に関して、緊密に連携をとっていくことに合意

[原文](#)

(26 August 2019, Japan Times)

4 日本の首相補佐官が、パラオを訪問（本年 2 回目）し、地域の観光や漁業に関して、地元政府関係者と議論

[原文](#)

(27 August 2019, Island Times)

※以下の Island Times は、時間帯によってアクセスできない場合がございます。

その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試してください。

5 「環礁国にとって、気候変動は将来の世代が直面する遠い脅威ではなく、熱帯性の暴風雨と海面上昇が人命、生活、インフラに打撃を与える緊急事態である」とモルディブで開催した国際会議において、ADB 総裁が発言（会議には、キリバス、マーシャル、モルディブ、ツバル政府高官が出席）

[原文](#)

(27 August 2019, ADB)

6 パラオの首都マルキョクに、400 万 US ドルをかけた中国系保険会社コールセンターの設置プロジェクト構想が州政府に申請中（中国人労働者が、当初 500 名が働き、その後、1600 名まで増える計画）

[原文](#)

(30 August 2019, Island Times)

7 パラオにおいて、海洋及び環境に関係する関係者が集まり、海洋、海洋資源及びその保護措置について議論

[原文](#)

(30 August 2019, Island Times)

【パラオへの航空便関連】

8 パラオと香港を結ぶ Palau Asia Pacific Airline Inc (The Global Development Group 傘下の航空会社) が、パラオとマカオを結ぶ直行便を 8 月末で一時中断すると発表 (約 1 ヶ月強での再会の可能性も示唆)

[原文](#)

(30 August 2019, Island Times)

9 パラオがベトナム人観光客の新たな目的地となる (ベトナムのローコストキャリア (Vietjet Air) が、週 2 便、ベトナム (ホーチミン) とパラオ間の直行便を 9 月 20 日より就航へ)

[原文](#)

(30 August 2019, Pacific Note)

【ソロモン諸島関連】

10 「中国の太平洋島嶼国への経済援助は空の約束である」と台湾外相は警告 (ソロモン諸島 (議会) では、現在、樹立している台湾との国交関係の見直しについて、近日中に議論される予定)

[原文](#)

(22 August 2019, Channel News Asia)

11 台湾は、ソロモン諸島に 295 万 US ドルを支援 (同支援は、ソロモン諸島全体の社会経済開発プロジェクトや人口・住居国勢調査に充てられる予定)

[原文](#)

(27 August 2019, PACNEWS)

12 ソロモン諸島首相は、台湾との国交関係について「あらゆる可能性を検討している」と発言し、(固定のものではなく) 中国に切り替える可能性があることを示唆

[原文](#)

(28 August 2019, Radio NZ)

【ナウル大統領の交代】

13 ナウルのワンガ大統領が、国会議員選挙で落選し、再選ならず

[原文](#)

(25 August 2019, ABC)

14 ナウル新大統領（アインジメア氏）が新体制（6名の新閣僚を指名）を発
足

[原文](#)

(28 August 2019, PACNEWS)